

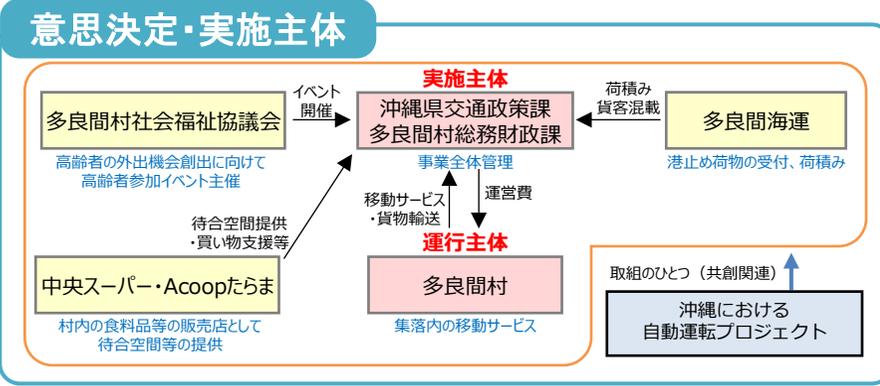
- 区分: **A 中小都市、過疎地など** (人口10万人未満の自治体)
- 空間的交通空白の解消
- 他分野による交通事業の活用
- 医療・介護・福祉 × 交通
- 宅配・物流 × 交通
- 商業・農業 × 交通

対象地域

- 地域：沖縄県多良間村
- 人口：1,058人
- 世帯数：466世帯
- 高齢化率：30.5%
- 面積：22.00km²

背景・お困りごと

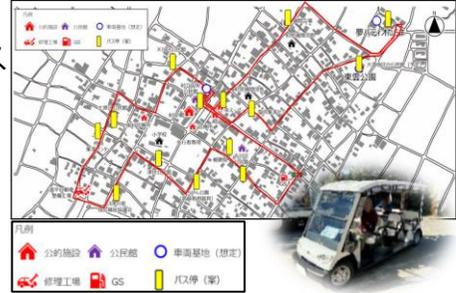
- 多良間村では少子高齢化による人口減少に伴い、様々な分野（特に公共交通の運転手、福祉関連）の担い手不足が続いている
- 村内には中心部と空港を結ぶ路線バスしかなく、集落内の移動サービスがないため、高齢者等の移動手段の確保に加え、港止め荷物の受け取りが課題
- 隣人や福祉職員が送迎・荷物引き取り対応しているが、負担が増加している



実施内容

①集落内を周遊する新たな移動サービス（カートタイプ車両）を導入し、高齢者の買い物支援や福祉分野の送迎等、外出機会の創出に加え、②村営バスを活用し、港止めの荷物を自宅等へ配達する実証実験を実施

- ### ①集落内移動サービス
- モード：定時定路線の路線バス（道路運送法における登録を要しない運送）
 - 予約方法：なし、料金：無料
- ### ②港止め荷物の置き配サービス
- モード：路線バス（貨客混載）（道路運送法における登録を要しない運送）
 - 予約方法：電話、料金：無料



- ### 重要ポイント
- 停留所に設置している運行表に小学生が描いたポスターを掲載することで、村民が本事業を自分事化できるようにした
 - 実証当初、利用方法がわからない高齢者が多かったため、健康教室の終了後に職員が参加者に対し、実際にカートのバス停の確認や、バスで停留所を待つなどの乗り方レクチャーを行い、利用促進へとつなげた

運行実績・成果

- 運行期間：①2024/12/2～12/27②2024/12/2～2025/2/5
- 利用者数：①300名（440運行） ②1件
- 平均乗合人数：①0.7人/1運行

運行実績

| | |
|----|--|
| 収入 | 0円 (内訳 運賃収入:0円※無料運行) |
| 支出 | 初期費用 1,034,980円 (車両レンタル費・輸送費、チラシ製作・配布費) |
| | ランニングコスト 352,000円 (運行費用) |
| 損益 | ▲1,386,980円※沖縄県が負担（共創・MaaS実証プロジェクトを活用） |

- ### 成果
- 集落内移動サービスを実施したことで、利用した方からは便利だったという声がある一方で、村民において定時定路線の公共交通という概念があまり浸透していないことが分かり、事業を継続してまずは習慣づくりが重要なことが分かった
 - 港止め荷物の置き配サービスを実施したところ、サービスの提供自体は問題なくできることを確認できたが、利用促進のための更なる工夫や新たな連携先等の開拓が重要なことが分かった

今後の事業展開

- <今後の事業展開時の運行における根拠法令（予定）：道路運送法第78条許可>
- 令和7年度は本事業に加えバスとカートの乗り継ぎ検証等による交通手段の充実化や、観光客等への利用促進等、地域活性化に向けた取組を実施する
 - 最終的には、財政規模の小さな島においても成り立つ「共創モデル」を構築し、そのモデルを県内の離島・過疎地域へ展開する